

スカパーJSATグループ
2012年度 第1四半期決算説明会

2012年8月2日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。

なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティに関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料デジタル多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

連結業績ハイライト

損益概要

前年同四半期比、増収減益
震災後一時的に急増した衛星利用は平時の水準へ

(単位:百万円)

	FY2011 1Q	FY2012 1Q	前年同四半期 増減率	通期業績 予想進捗率
営業収益	37,911	39,086	+3.1%	23.8%
営業利益	5,916	5,043	△14.8%	31.5%
経常利益	5,663	4,922	△13.1%	31.8%
四半期純利益	3,420	3,228	△5.6%	35.9%
EBITDA*1	12,226	11,127	△9.0%	—

*1 EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

有料多チャンネル事業の主要指標

新規加入件数は前年同四半期比7%増
HD移行促進によりハイビジョン化率は37%超に拡大

	FY2011 1Q	FY2012 1Q	FY2012 通期目標
新規加入件数	15.4 万件	16.5 万件	68.3 万件
純増数	1.6 万件	1.7 万件	10.6 万件
累計加入件数	374.2 万件	383.1 万件	392.0 万件
加入者支払単価	3,264 円	3,223 円	—
ARPU	1,586 円	1,738 円	—
SAC (単価)	29,502 円	26,117 円	—
ハイビジョン化率*	21.8%	37.1%	54.7%

* (スカパー！HD累計加入件数) ÷ (スカパー！SD+スカパー！HD累計加入件数)

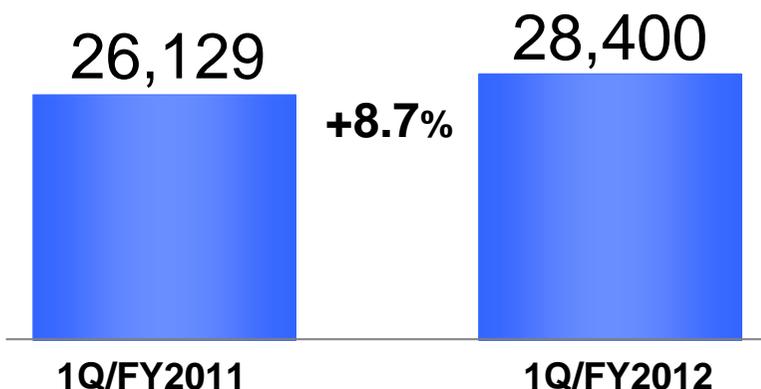
連結業績解説

営業収益(セグメント別の増減要因)

有料多チャンネル事業

➡ +23億円*

(単位:百万円)



■ 主な増減要因

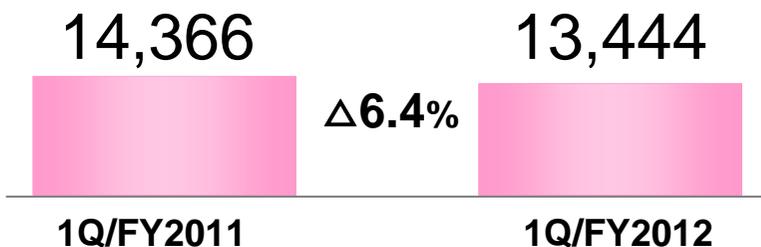
- 視聴料収入の増加: +26 億円
- 業務手数料収入の減少: $\Delta 7$ 億円
 - SD業務手数料: $\Delta 15$ 億円
 - e2業務手数料: +6 億円
- その他の収入増: +4 億円

* セグメント間取引 $\Delta 6$ 百万円を含む。

宇宙・衛星事業

➡ $\Delta 9$ 億円*

(単位:百万円)



■ 主な増減要因

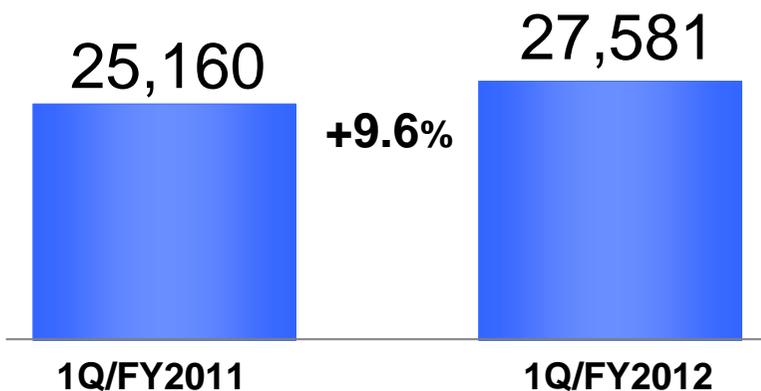
- 震災関連利用終了等による減少: $\Delta 8$ 億円
- 放送トラポン収入の減少: $\Delta 3$ 億円

* セグメント間取引+1.8億円を含む。

営業費用(セグメント別の増減要因)

有料多チャンネル事業

(単位:百万円)



➡ +24億円*

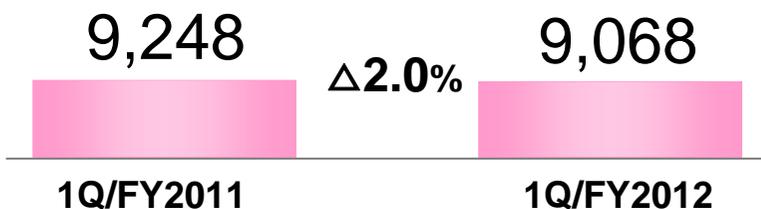
■ 主な増減要因

- HD等番組供給料の増加: +14 億円
- アンテナ施策等による費用増: +8 億円
- 新BS関連費用の増加: +4 億円

* セグメント間取引+1.6億円を含む。

宇宙・衛星事業

(単位:百万円)



➡ Δ2億円*

(大きな増減要因なし)

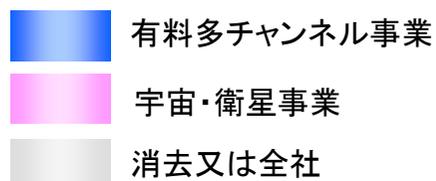
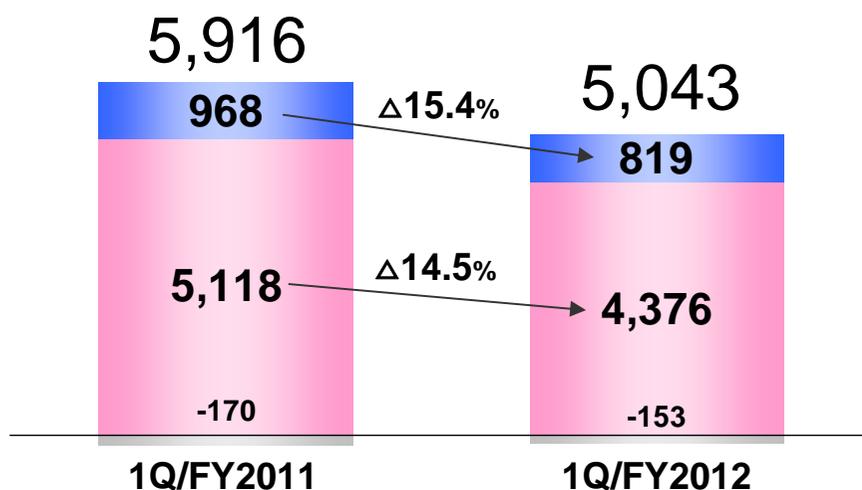
* セグメント間取引Δ8百万円を含む。

利益指標

有料多チャンネル事業、宇宙・衛星事業ともに
前年同四半期比約15%の減益

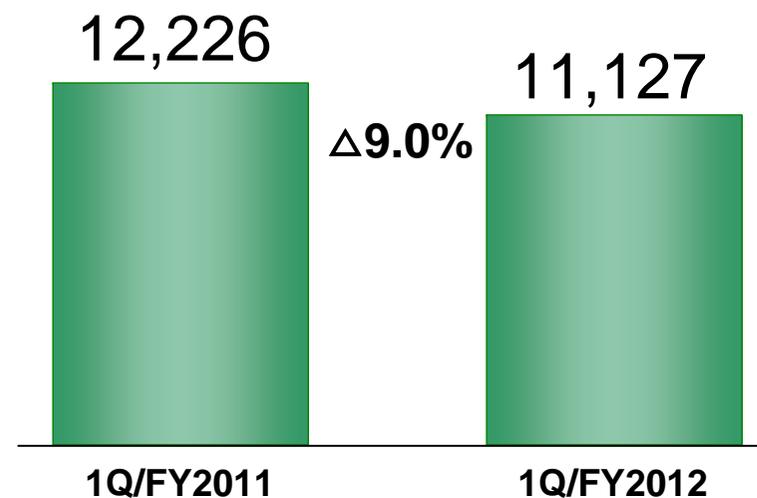
営業利益

(単位:百万円)



EBITDA*

(単位:百万円)



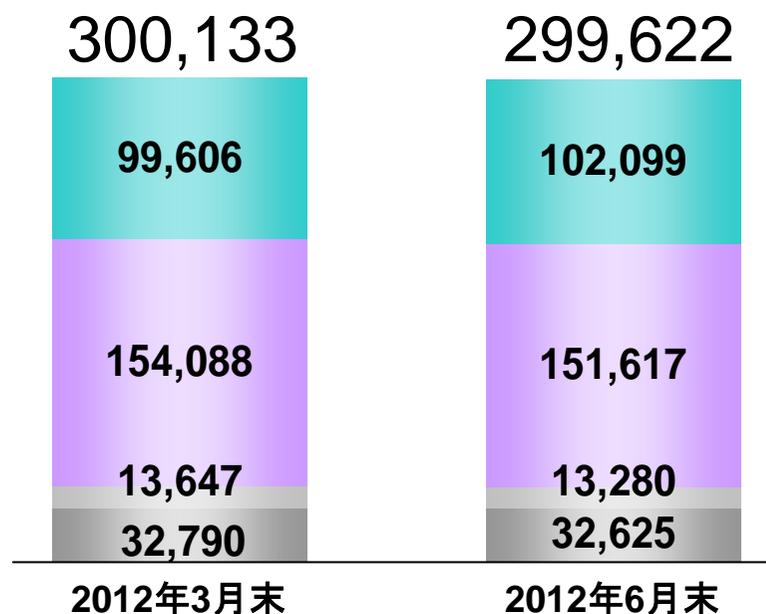
* EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

貸借対照表

安定した財務基盤を継続(自己資本比率:62.2%)

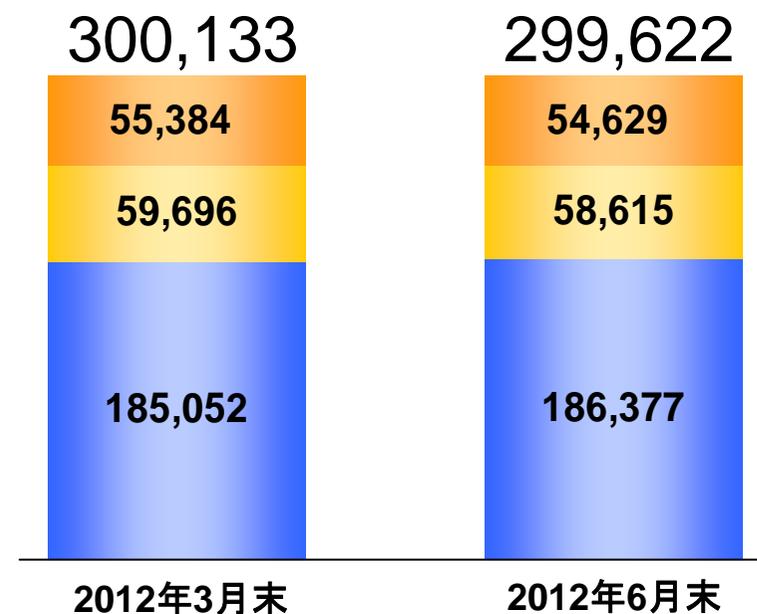
資産

(単位:百万円)



負債・純資産

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー

営業CFは前年同四半期比約40億円減少
前年度第4四半期より純有利子負債を解消

(単位:百万円)

	FY2011 1Q	FY2012 1Q	FY2011 通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,909	13,987	39,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,280	△4,098	1,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,481	△3,482	△34,993
現金及び現金同等物の期末残高(a)	79,254	72,924	66,404
有利子負債期末残高 *1 (b)	90,844	61,826	62,506
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	11,589	△11,098	△3,898
設備・事業投資等 *2	4,072	4,098	14,444
フリー・キャッシュ・フロー *3	13,837	9,888	25,532

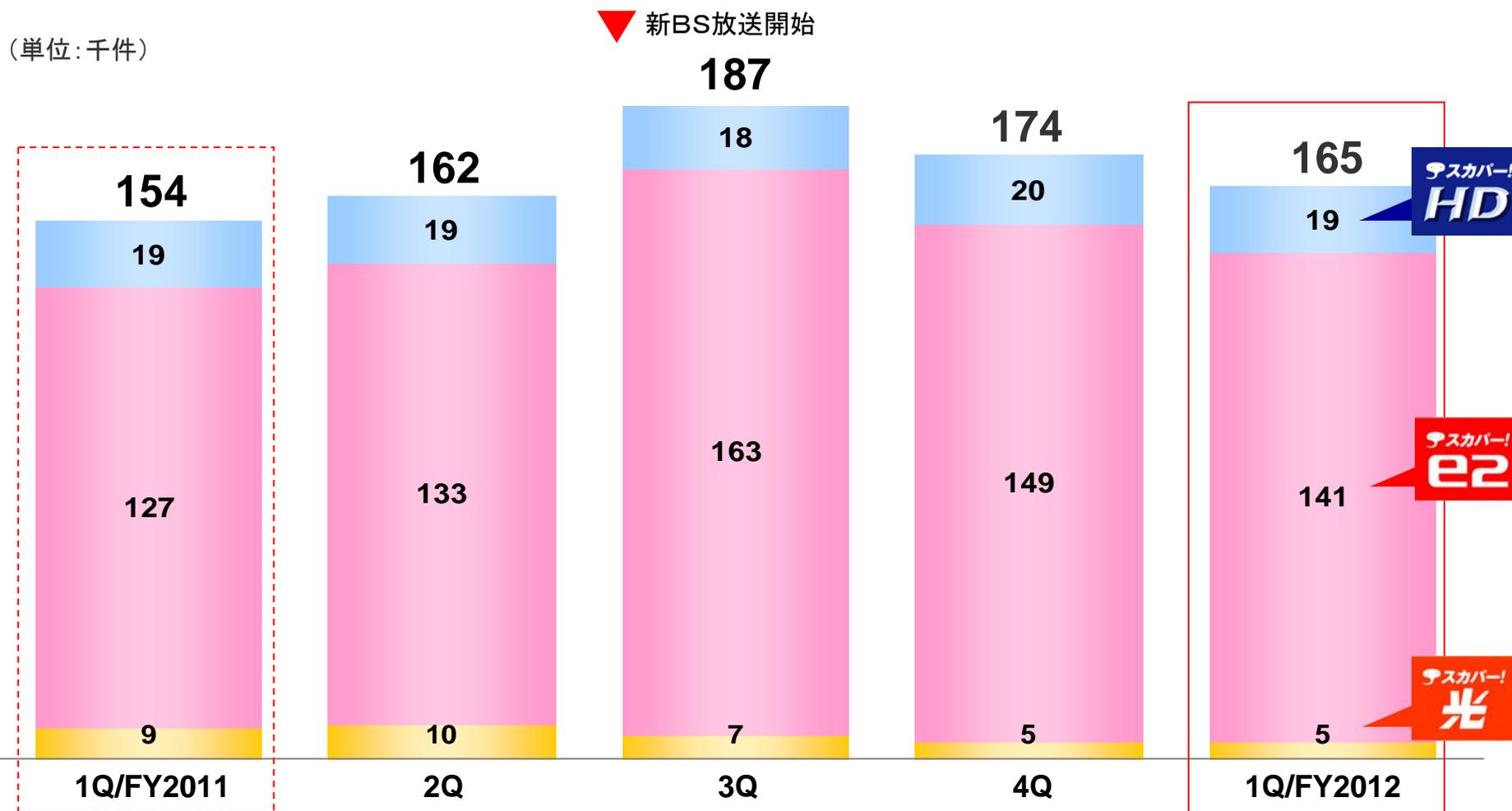
*1 借入金＋無担保社債

*2 投資活動によるキャッシュフローから短期運用目的の有価証券の取得・売却・償還等の増減を除いて算出。

*3 (営業活動によるキャッシュフロー)－(設備・事業投資等)

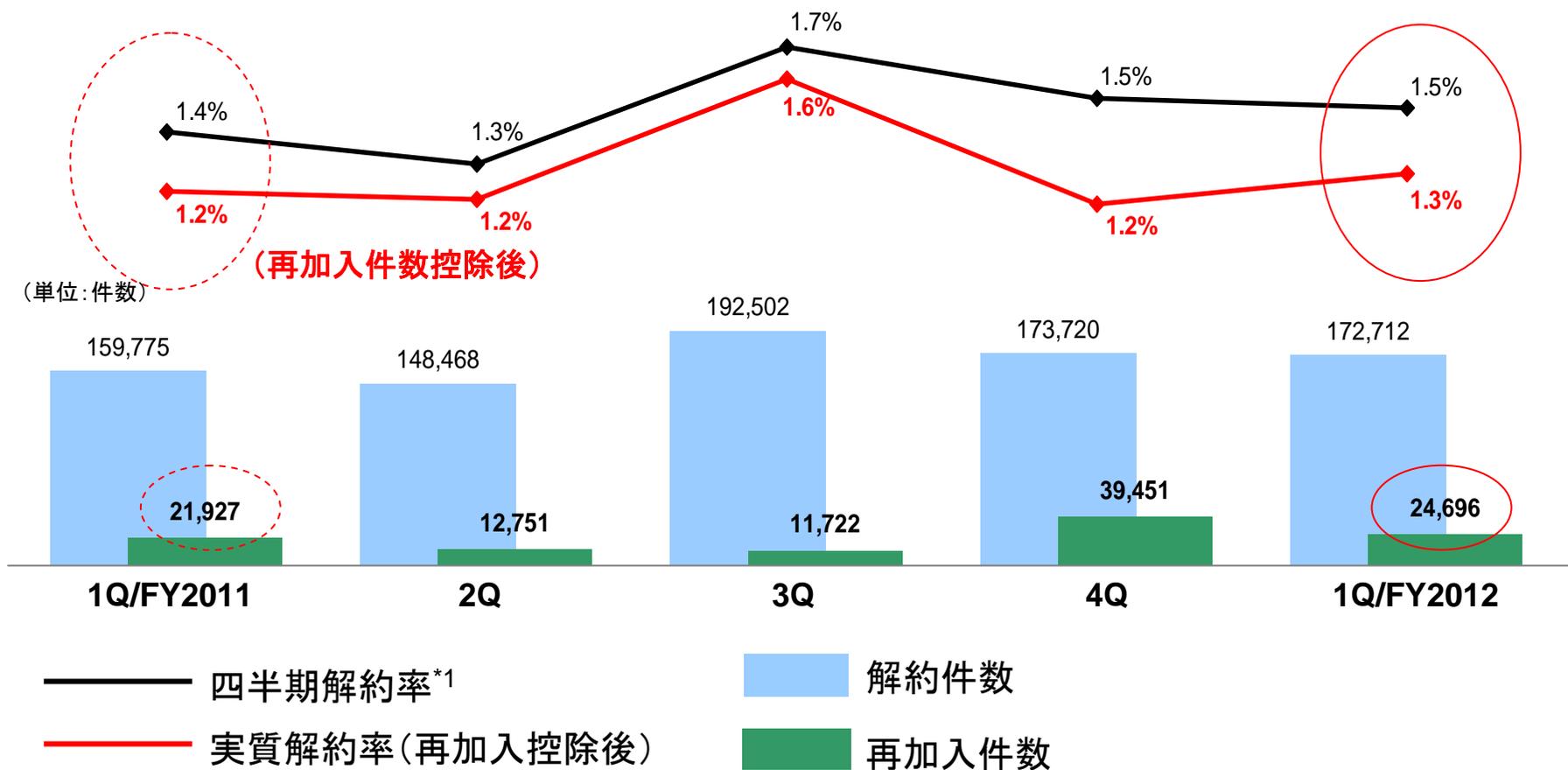
新規加入件数

スカパー！e2を中心に新規加入は堅調
前年同四半期比、7%増



解約率*1

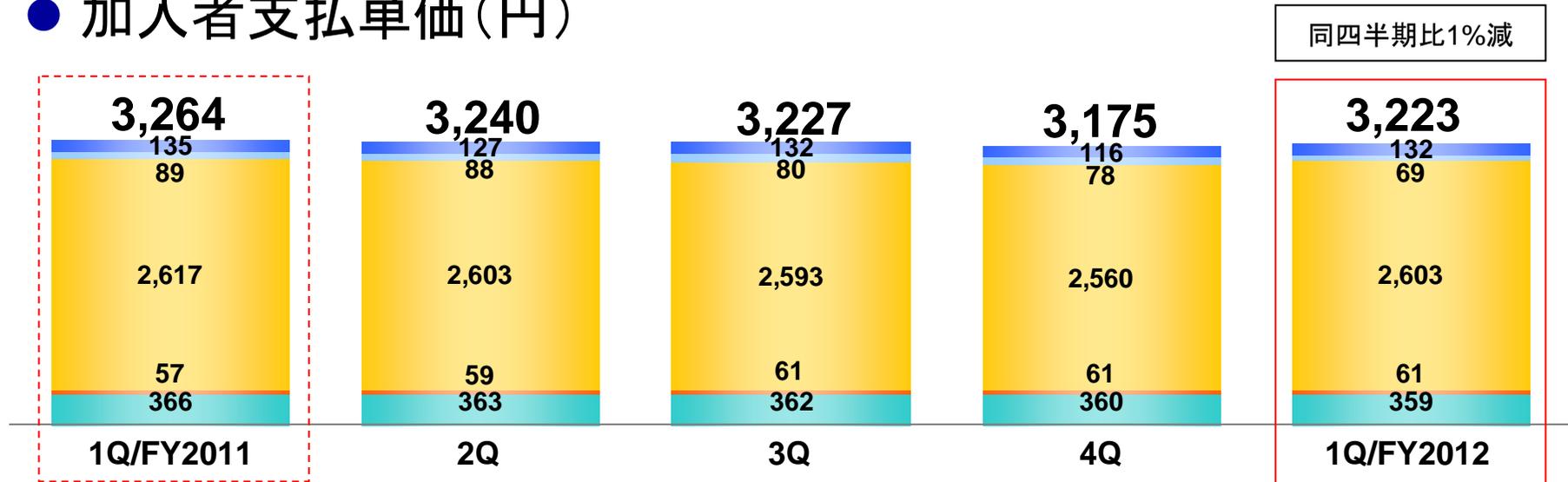
解約率は前年同四半期比、0.1ポイント上昇
再加入件数は約13%増加



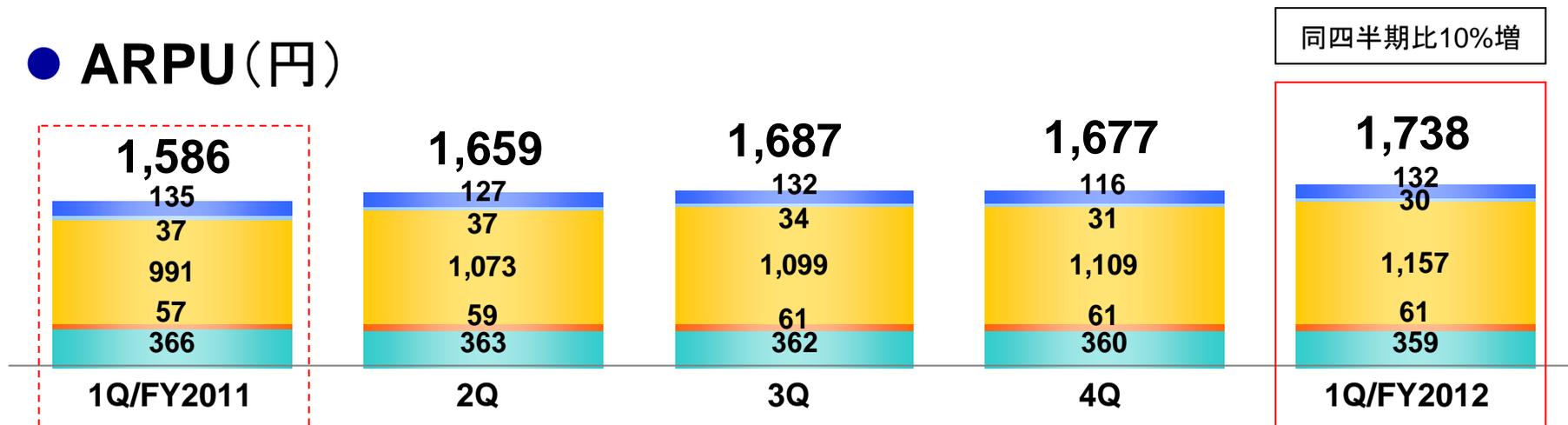
*1 月次解約率の四半期平均(3サービスをまとめて算定)。

ARPU

● 加入者支払単価(円)



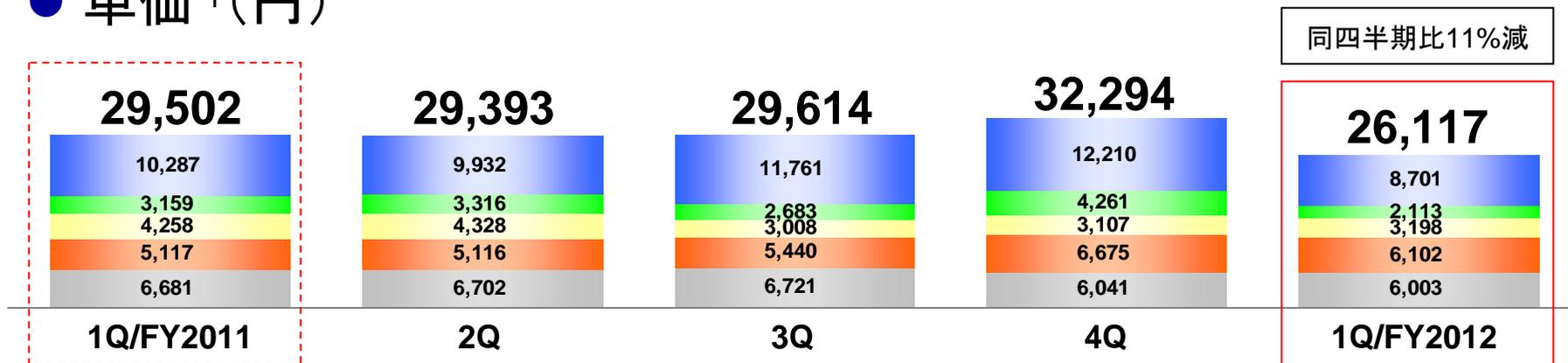
● ARPU (円)



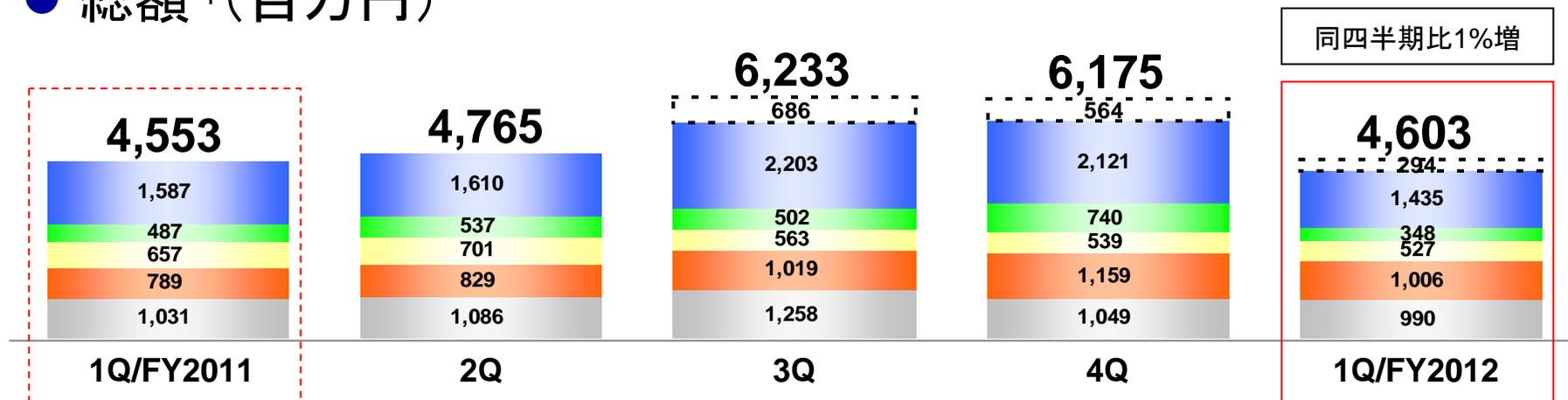
■ 基本料/件
 ■ レンタル会費/件
 ■ フラット視聴料/件
 ■ PPV視聴料/件
 ■ 自主コンテンツ収入/件

SAC

● 単価*1(円)



● 総額*1(百万円)



■ 広告宣伝費
 ■ 販売促進費
 ■ 販売インセンティブ
 ■ ユーザーキャンペーン *2
 ■ その他
 無料コンテンツ費 *3

*1 3サービスの合計。SAC単価は無料コンテンツ費を除いて算定。

*2 「アンテナあげます!つけます!キャンペーン」、「いまなら割」等の各種キャンペーン費用。従来の販売促進費・販売インセンティブから独立して表示。

*3 SAC総額の「無料コンテンツ費」はBSスカパー!の番組制作費等。

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

スカパー！e2が更に充実のラインナップ

本年2月、CS110度の空き帯域で14ch認定

ハイビジョン化 7/1スタート



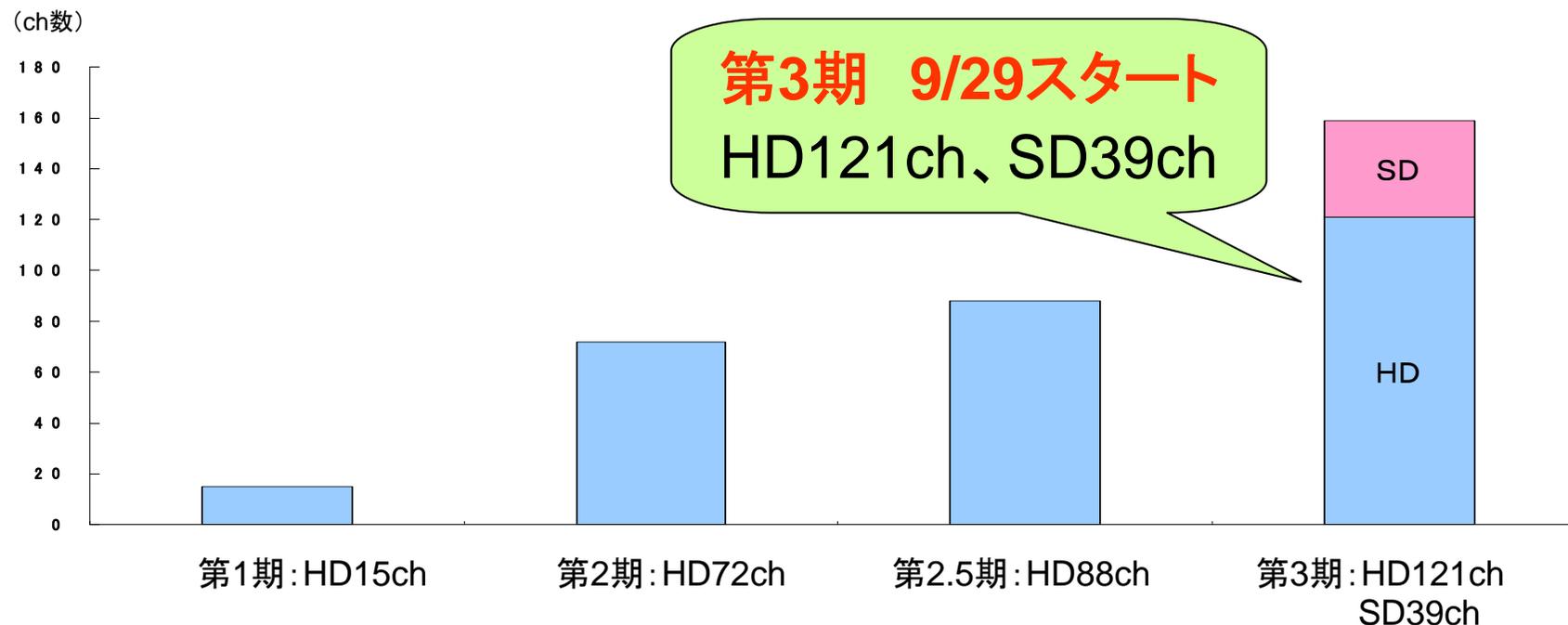
今秋以降、順次開局予定

スカパー！
e2

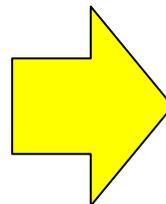
ハイビジョン化が着々と進行！

『スカパー！HD』第3期、9/29(土)スタート

HD対応チューナーで視聴いただけるチャンネルが拡大
～ハイビジョンチャンネルも計121チャンネルへ～



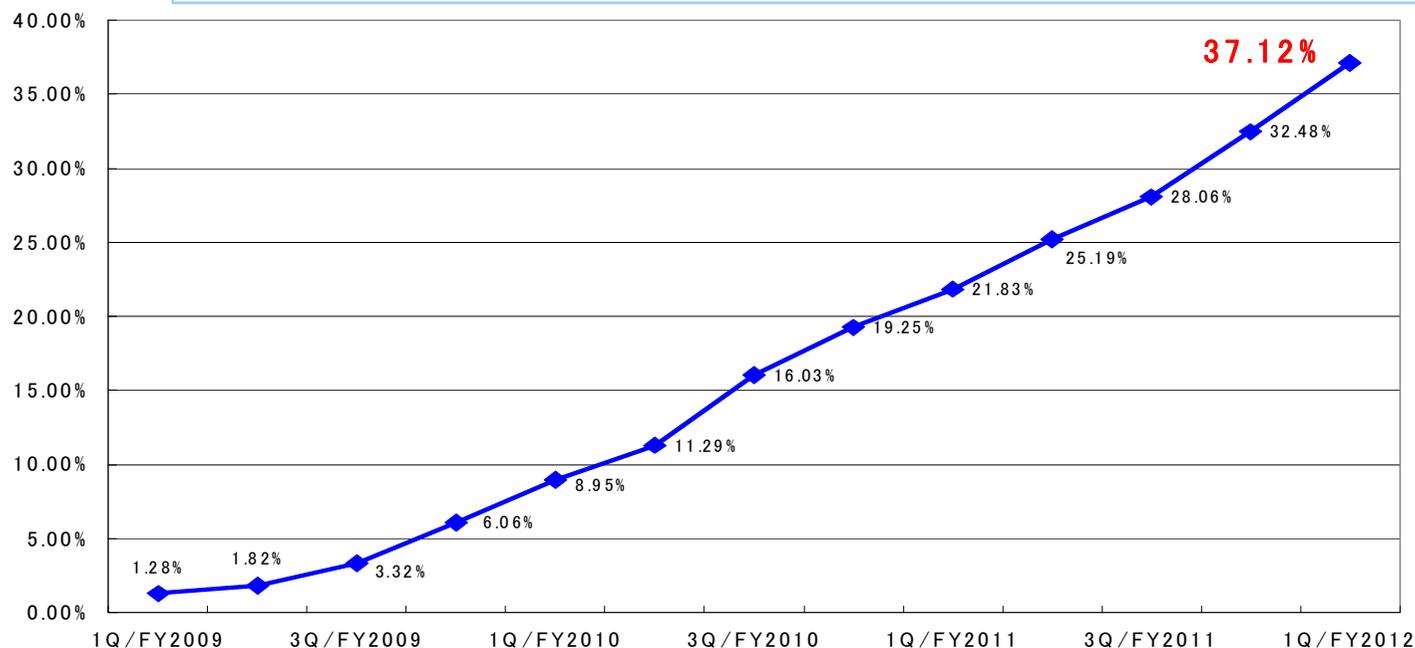
商品のH.264化準備完了



H.264への移行加速へ

スカパー！HDへの移行促進

2012年6月末、HD化率は37%に



【2012年HD移行件数】

2012年1月	9,523
2012年2月	19,754
2012年3月	34,790
2012年4月	16,854
2012年5月	22,487
2012年6月	26,130
2012年7月	31,649

■ 量販店店頭でのチューナー販売の再開



マスプロ電工
CDT-700HD



HUMAX
CS-HD300



今秋の展開

下期のプロモーションを9月下旬からスタート

■ スカパー！アワード 2012 : 9/27(木)開催

■ 無料視聴放送期間実施による“視聴習慣”の創出

『秋の超拡大大開放デー』の実施

9/29(土)～10/8(月・祝):10日間

■ BSスカパー！秋の特番祭り

9/29(土)～10/8(月・祝)

⇒ 放送事業者との連携によりコンテンツ強化

8月／9月のコンテンツ編成

8月

■ 欧州サッカー 主要リーグが続々開幕

イングランド:プレミアリーグ スペイン:リーガ・エスパニョーラ
ドイツ:ブンデスリーガ イタリア:セリエA
カップ戦:UEFAチャンピオンズリーグ / UEFAヨーロッパリーグ



マンチェスターU
香川真司選手



日テレプラス『家政婦のミタ』

■ 話題の国内ドラマ一挙放送

『白鳥麗子でございます!』『愛していると言ってくれ』『愛という名のもとに』『BOSS』
『家政婦のミタ』『相棒 season2』『Dr.コトー診療所』…他多数

■ ロンドン2012パラリンピック

8/30(木)～9/10(月) BSスカパー！・スカチャンで連日無料放送



9月

■ 日本映画100年 日本映画黄金期のスタアたち

石原裕次郎、吉永小百合、小林旭らの映画作品勢ぞろい

『嵐を呼ぶ男』『キューポラのある街』『口笛が流れる港町』など／BSスカパー！特別編成も実施



『嵐を呼ぶ男』 ©日活

『キューポラのある街』



©日活



『口笛が流れる港町』 ©日活

ビデオ・オン・デマンド(VOD)サービスの充実

スカパー！加入者に、TVをどこでも楽しめる利便性を提供

どこでもJリーグLIVEキャンペーン

『アウェイ』はスカパー！でTV観戦 ⇒ 『ホーム』はスタジアムでモバイル観戦

～どこでもJリーグLIVEキャンペーン～

お手持ちのスカパー！HDチューナーで見たお客様を
「いつでも・どこでも・何度でも！」

どこでもJリーグLIVEキャンペーン

キャンペーン期間：Jリーグ2012年シーズン(2012年3月1日～2012年12月31日ご契約分)

スマートフォン、タブレット、パソコンで
J1・J2リーグ戦のライブ中継などを見られる!

キャンペーン対象のJリーグ系セット契約者は **0円/月**



ツール・ド・フランス

プロローグから第20ステージまで、全ステージLIVE配信



鈴鹿8時間耐久ロードレース

PPV購入者割引により、加入者の利便性向上



『スカパー！サービス』の抜本的改革へ

「総加入者の最大化」に向け、サービス体系・コミュニケーション手法を
お客様の目線で再構築&シンプル化へ

2012年度下期以降の順次開始に向け、
以下のテーマについて放送事業者と協議中

- サービスブランド体系の一元化
- お客様に「わかりやすい」商品ラインナップの構築
- こだわりに応えるプレミアムサービスの提供
- 「新規加入者獲得」と「既存加入者との絆アップ」を両輪とした
コミュニケーション改革

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

BCP需要に向けた継続的な取り組み

BCP需要と衛星携帯電話需要に対応

■ BCP見直しに伴う、追加利用及び新規検討の動き

- ・携帯電話事業者： 携帯基地局向けバックアップ回線
- ・金融機関： データセンターバックアップ回線
- ・電力・ガス会社： テレビ会議、監視・制御用回線等
- ・地方自治体： 放射線監視/モニター強化

■ 衛星携帯電話「IsatPhone Pro」の提供開始

2012年7月20日より国内向けサービス開始

⇒ NTTドコモでも8月上旬より取り扱い開始



グローバル事業の拡大

新規衛星打ち上げによるアジアビジネスの強化

■ JCSAT-13はJCSAT-4Bとして本運用

- 2012年5月16日午前7時13分(日本時間)
南米仏領ギアナより打ち上げ
- 2012年7月10日(日本時間) 正式引き渡し完了
JCSAT-4Bとして本運用開始
- 有料多チャンネル放送、通信サービスの双方で利用
- 東南アジアビーム、可動ビームも搭載



ロッキード・マーティン社との引き渡しセレモニー

■ アジアのDTH需要に対応

- インドネシア大手財閥LIPPOグループ傘下の
PT Tecnoves International社とJCSAT-4Bの
衛星中継器(トランスポンダ)利用契約を締結済
- 同グループ傘下のPT. First Media Tbk^(※)が
DTH事業拡大により、今後400チャンネル体制
の放送と数百万世帯の視聴者を見込む

(※)インドネシア最大のケーブルテレビ事業者で、
約53万世帯(2011年8月現在)に対してサービス提供



LIPPOグループCEOと面談

衛星移動体通信サービスの拡大

■ 海洋向けブロードバンドサービス

海洋ブロードバンドサービス

OceanBB
オセアンビービー

- 日本郵船の導入決定(100隻以上が利用へ)
- 3大商船(日本郵船・商船三井・川崎汽船)がOceanBBを導入



日本郵船
コンテナ船(NYK VIRGO)



商船三井客船
客船(にっぽん丸)



川崎汽船
ばら積み貨物船
(CORONA JOYFUL)

■ 航空機向けブロードバンドサービス

- 米国Panasonic Avionics社のeXConnectサービスに衛星回線を提供
- 東南アジア上空を航行する民間航空機(JALジャカルタ線では10月下旬開始)で、当社衛星回線を通じ航空機内でインターネット接続が可能に

宇宙ビジネス・新規ビジネスの推進

新たな事業領域での積極的な事業展開

【宇宙ビジネス】

■「きずな」の社会化実験の推進

- ・超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)の利用促進業務と運用業務をJAXAより受託
- ・JAXAと連携して実験を推進し、将来の通信衛星のニーズを検証
- ・当社横浜衛星管制センターで衛星の運用管制

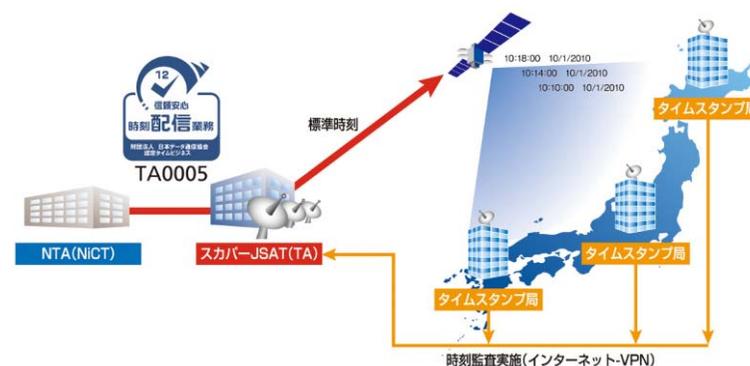


「きずな」軌道上概観図

【新規ビジネス】

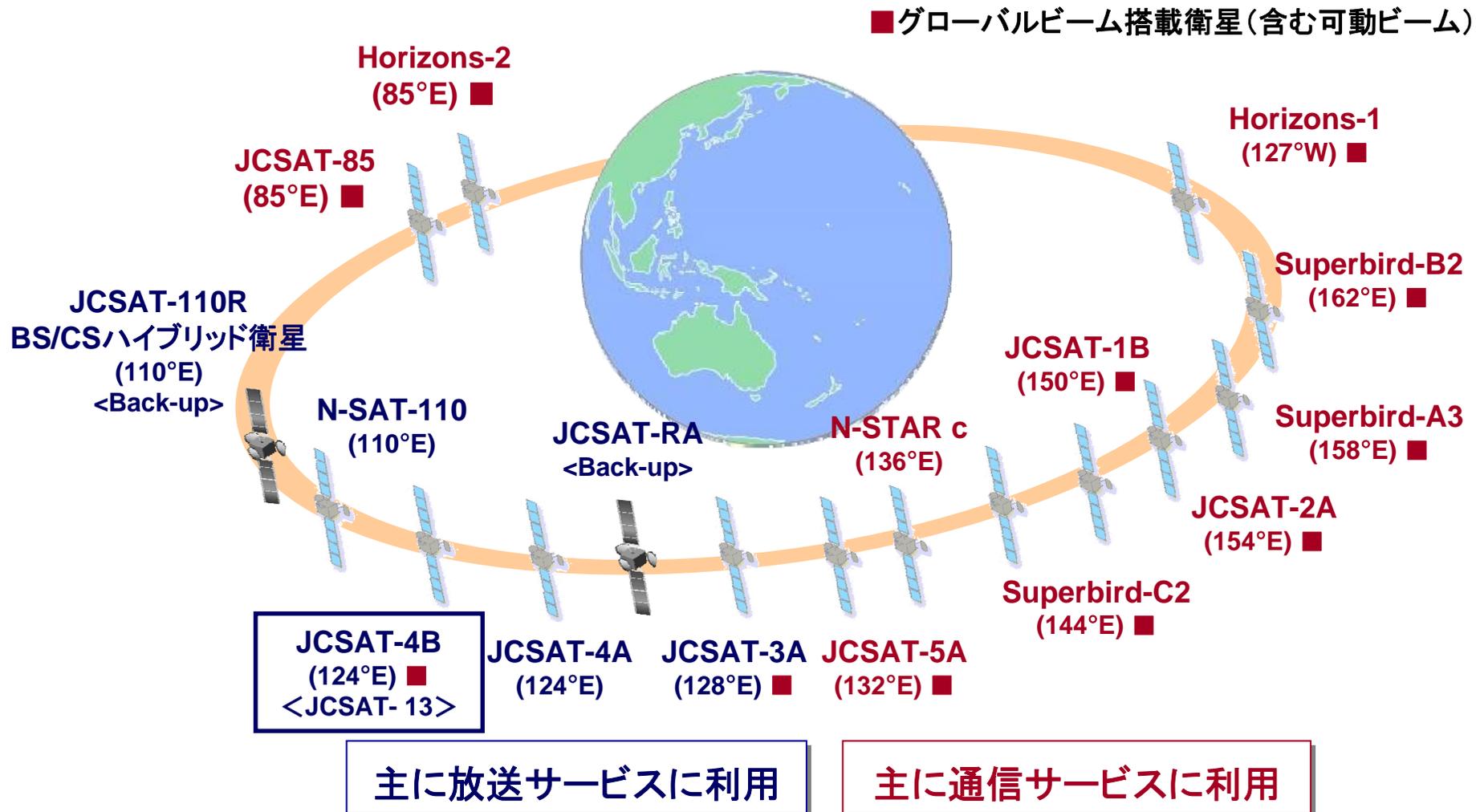
■衛星時刻配信サービス(TimeShower)の拡大

- ・アマノ ビジネスソリューションズ(株)の新タイムスタンプサービスでTimeShowerを採用
- ・新タイムスタンプサービスの営業活動を2社で共同展開することで普及促進



(参考) 衛星フリート図

北米上空からインド洋上空まで計16機の衛星を保有



本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部